

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	株式会社 メディカルケア	代表者	池尾深雪	法人・事業所の特徴	「その人らしい暮らし」を大切にし、ホームの行事や作業は職員と利用者様が協働して支え合う関係を築いている。地域行事への参加や認知症サポーター養成講座・介護教室の開催を通じて地域と交流し、要介護となっても安心して暮らせる地域づくりを目指す。アロマのディフューズなど癒しの環境づくりに配慮するとともに、化粧水・シャンプー・トリートメント、ソマチット、ベルムア等を活用し特化した取り組みも行っている。
事業所名	ケアホームほりおか	管理者	笠谷智子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	1人	1人	人	4人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所の改善計画を具体的でわかりやすく項目を挙げ、職員間で共有し、達成できるようにする。	計画の周知と共有は図ったものの目標設定が抽象的で具体性に欠ける部分があり、職員ひとりひとりが明確にイメージできないまま取り組む結果となった。	地域行事や地域に出向いての活動にも一生懸命取り組んでいると感じる。これからも積極的に地域に出向いてください。抽象的な文章で分かりにくい。外国の職員にも分かりやすい課題にした方がいい一生懸命に取り組んでおられるが出来ていないこともあるようで。無理のないように頑張ってください。	ご利用者のやりたいことの把握を行うために「その人を知る」をする。
B. 事業所のしつらえ・環境	日々の清掃、挨拶、環境整備、感染症対策を継続とし、季節に応じて事業所の展示物を変更したり、利用者様と新しく作成して四季折々の環境づくりに取り組む。	利用者様が安心・安全に過ごせる清潔な環境を維持できている。季節の移り変わりに合わせ、事業所内の展示物を計画的に更新した。	施設に入るとアロマが焚いてあり、とてもいい香りがした。感染対策がなされているので室内には入っていないが玄関はいつも開錠されている。	明るい環境づくりを心がけ、イベント等を企画し来訪しやすい事業所づくりを目指す
C. 事業所と地域のかかわり	利用の有無に関わらず近隣の方の介護の相談などが受けられる事業所を目指していく。	地域住民にとって「介護相談ができる場所」として認識が浸透しておらず、近隣の方の気軽な立ち寄りを実現できていない。	地域行事に参加しておられるようでよく姿を見かけている。介護教室を開催していただきありがとうございます。色んなところに連れて行ってもらえて利用者さん楽しそう。	地域のイベント等に引き続き参加を行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	感染状況を見ながら地域行事の参加、散歩やドライブでも地域に出向く機会を増やす。	車内での換気や消毒を徹底したうえで季節を感じるドライブ(花見・紅葉)を実施した。近隣の小学校の運動会や文化祭、また地域の納涼祭へ積極的に参加した。	散歩をしておられる姿をよく見ます行事にもよく参加しておられる車椅子の人も出かけておられるようでお連れするのも大変だなと思うが今後も続けてほしい。	感染対策を講じながら地域とのつながりを絶やさぬよう地域行事などに積極的に参加し継続していく。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議やその他の会議等にも、職員ひとり一人が参加する機会を増やし職員の意識向上に努める。	職員が順番に参加することができ、運営推進会議で得られた地域の行事情報を、参加職員を通じて全職員で共有できた。	メディカルケアの取り組みの説明でたくさん良いことをおられると感じている運営推進会議の際に初めて会う職員も居た皆さん順番に参加されているのかなと思った。	特定の職員に固定せず、多様な職種の職員が交代で運営推進会議へ参加する機会を引き続き継続し、直接共有できる体制を整えていく。
F. 事業所の防災・災害対策	事業所や地域の防災・災害対策を地域の方と情報を共有する。引き続き、地域の防災訓練に参加していく。	事業所や地域の防災・災害対策を地域の方と情報共有はできておらず、不十分であった。地域の防災訓練には積極的に参加している。	利用者様も毎回訓練に参加しておられ、頑張っていると思って見ている。防災訓練等、今後も一緒にやっていきましょう	地域の避難訓練などに積極的に参加し、近隣住民との顔の見える関係を築くことで災害時に互いに助け合える地域共助の体制づくりを引き続き継続していく。